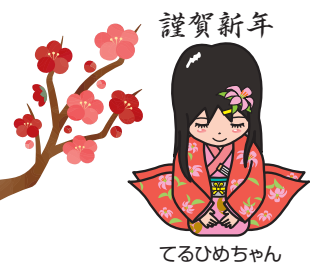


商工 かがわ

The Kakogawa Chamber of Commerce and Industry



謹賀新年

てるひめちゃん

特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

■年頭のごあいさつ

「地域の全産業を回復・成長の年に」

加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

■エッセイ

マネジメントオフィス たき

代表 多木 有一さん



<https://kakogawa-cci.or.jp/>



年頭のごあいさつ

「地域の全産業を回復・成長の年に」

加古川商工会議所

会頭 釜谷 和明

令和6年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス禍による低迷期からの脱却と継続的な成長を目指した令和5年でしたが、V字回復とはいかず、業種間で回復度合いにバラつきが生じています。本年こそは、全業種での業績回復が期待されるところです。

しかしながら、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻とその経済制裁の影響が全世界に波及し、エネルギー資源や穀物等の供給停滞が光熱費・食料品・原材料価格の高騰へとつながり、企業経営や市民生活に大打撃を与えています。さらに、中東でも戦闘が勃発、国際情勢は非常に先行き不透明な状況となっています。

日本経済は、この厳しい状況下で、さらに急激な円安進行と物価高、賃上げ対応、カーボンニュートラルの取組みなど様々な経営課題が山積し、企業は近年まれに見る経営上の難局に直面しています。政府による緊急的な経営支援策が求められるほか、支援機関として商工会議所の果たすべき役割も益々重要となっています。

当地域では現在、東播磨道の北工区、国道2号加古川橋架替などインフラ整備工事が着々と進み、播磨臨海地域道路は都市計画決定に向け詳細ルート案が発表されるなど、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網が実現されることとなっています。また、2025年開催の大阪・関西万博は、人やモノ、情報が関西に集まる絶好の機会でもあり、当地への好影響も期待されます。

当所では、当商工ビル1階に移転した（一社）加古川観光協会と連携を図り、地域企業の売上アップにつながる「ふるさと納税返礼品への登録」を推進しています。これまで返礼品は“モノ”中心でしたが、今後は飲食やサービスなど“コト”にも対象を拡げ、市内全業種の企業に売上増へ繋げて頂きたいと考えております。

コロナ禍以来、経営相談で来所される事業主の皆様が急増しており、支援機関としての商工会議所への期待が高まっていることを実感しています。ニーズに合った各種施策の実施や相談支援事業を推進するとともに、関係機関とも連携を図り、各種公的支援策の活用や情報提供、中小企業のポストコロナ時代及び原材料価格の高騰対策に向けた経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う伴走型の支援を行う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとって「成長の年」となりますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年ごあいさつ

加古川市長
岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、各種イベントや事業が再開されるなど、徐々に社会経済活動が活発化しています。一方で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が社会経済に大きな影響を与え、事業者の皆様におかれましては、依然として厳しい経営環境が続いていることと思います。

このような状況の中、本市におきましては以前よりご好評をいただいております「キャッシュレス決済事業者と連携したポイント還元キャンペーン」を実施し、飲食店をはじめとした市内の様々な業種の売上向上を支援してまいりました。また、空き店舗等活用支援事業補助金の対象業種を、これまでの飲食業、小売業に加え、生活関連サービス業に拡げるとともに、加古川河川敷を活用した「かわまちづくり」の取組では、開催されるイベントが本市の風物詩としても定着してまいりました。これらの取組を一体的に推し進め、J R加古川駅前の中心市街地等の賑わい創出に取り組んでいるところです。今後も引き続き、事業者の皆様に向けた各種支援施策の実施をはじめ、市内の経済活性化のための施策を進めてまいります。

加古川商工会議所におかれましては、令和4年度から「ふるさと納税返礼品開発特別委員会」を立ち上げられ精力的に活動を展開していただいたことで、参画事業者や返礼品数も増加し、令和4年度は寄附総額が初めて4億円を上回りました。また、昨年7月に加古川プラザホテル1階に移転した一般社団法人加古川観光協会との連携による、新たな返礼品の開発などにも一層のご協力をいただいているところであり、重ねてお礼申し上げます。

世界情勢の不安定さや物価高騰等は未だに見通しが立たない状況が続いておりますが、本市が目指す「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、複雑多様化する市民ニーズや社会情勢に行政が的確に対応していくことはもちろんのこと、市内事業者の皆様のご協力がなければ成し遂げられません。本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

もくじ



今月の表紙
『日岡神社』

事業所データ

◆代表者

まつざき まさと
宮司 松崎 正誠

◆所在地

加古川市加古川町大野 1 7 5 5

◆電話

079-422-7646

◆ホームページ

<https://www.hiokajinja.jp/>

◆表紙写真

- ①中央が松崎正誠さん、右隣は前宮司の父正俊さん
- ②干支の大絵馬
- ③無病息災を願って茅の輪をくぐる。夏越祭の様子。
- ④亥巳籠明けに行われる禊人による射神事
- ⑤大碓命と小碓命の産湯に使われた石のタライのレプリカ。原物は神社から南へ1kmの美乃利地区にあります



1 年頭のごあいさつ 加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

2 新年ごあいさつ 加古川市長 岡田 康裕

4 特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

9 エッセイ 「振り返りこれからを思うこと」
マネジメントオフィス たき
代表 多木 有一 さん

11 会議所のうごき 秋の但馬を満喫
- 会員交流バス旅行を開催 - 他

11 団体だより 女性会・青年部・異業種交流会

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所からのお知らせ 年末調整のお手伝い 他

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



地域に愛される神社とつづ

「1300年の歴史を守る重責を担うことになり、その職責を全うすべく決意を新たにしています」その力を込めて話すのは、昨年4月に父正俊さんのあとを継いだ宮司松崎正誠さんです。

天伊佐佐比古命（あめのいささひこのみこと）を主神とし、天平2年（730年）に創建されたとされる日岡神社は、安産の神として名を馳せ、地域はもとより全国から参詣者が絶えない、加古川を代表する神社で、写真や写生のスポットとしても親しまれています。

安産の神の由縁は、一説には稲日大郎姫命（いなひのおおいらつめ）が双子（大碓命、小碓命）を身籠もった際、七日七夜祈願をし無事安産で出産されたことからともいわれ、これは当神社で2月に行われる「亥巳籠（いみごもり）」の起源に関わるとも言われています。松崎さんは「亥巳籠中は神殿を縛で囲い注連縄を張り巡らせ、鈴を柱に結わえ一切の音を禁じ、地域の安寧を祈ります。明けて午の日に、禊人が行つ射（まとい）の神事をニューズなどで見たことがある人も多いのではないのでしょうか」と話します。

ご祈禱にいられた方にお渡しするご神供の準備も宮司・神職の3名で行っています。「もち米2升、うるち米2升を蒸し、一晚お供えした後、一粒一粒ばらし、その後1年間、ご祈禱にいられた方にお渡します。大変な仕事ですが、神様に捧げたご供物を皆さまにお渡しすることでご加護を受けていただくためのもの、心を込めて丁寧に扱つよう心がけています」

ご祈禱は安産祈願をはじめ、初宮詣り・七五三詣りのほか、厄払いや交通安全祈願もされています。松崎さんは「当神社にお越しになる方やお祝いで来られる方が多いので、皆さんの笑顔を見るところらまで幸せな気持ちになります。代々でご祈禱にいられる方もいて、遠く離れてもわざわざこちらにお詣りにお越しただけなのは本当に有難いですね」と感謝の思いを口にします。

「近年は地域の人の入れ替わりも激しく、高齢化問題も重なり年中行事に関わってくださる方が減ってきています。地元の方々と対話を重ねてこの問題に取り組んでいかなければなりません。一人でも多くの方に地域の神社として理解を深めていただけるよう、私自身も精進を続けてまいります」

神社仏閣巡りなどがブームとなるなかで、真の「愛され親しまれる神社」とは何か、を追求する松崎さん、長く続くその道ははじまったばかりです。

36歳



SBホームエージェント 代表
さわ ゆき
澤 優希 さん

加古川市加古川町備後1-18
TEL: 090-2357-0505

1988年生まれ この年の出来事

◎リクルート事件 ◎青函トンネル・東京ドーム・瀬戸大橋など大型開発事業が相次いで竣工 ◎地方博がブームに ◎ファミコン用ソフト「ドラゴンクエストIII」発売、社会現象に

10年ほど屋根・外壁工事の会社に勤めた後、“作る側”から“売る側”へ転身してみようと思い、資格を取得し不動産会社へ就職しました。接客や営業、書類作成など目まぐるしく過ぎる日々のなかで、やはり自分自身は“作る”ほうが性に合っていると気づき、そこから起業し3年が経ちました。起業直後は知り合いに仕事を紹介してもらったり、チラシのポスティングなど明日の仕事を探す毎日、覚悟はしていましたが何も実績が無いなかでの仕事探しは本当に大変でした。

当初は下請けの仕事が多かったのですが、仕事があり有難いと思う反面、直接お客様の声を聞くことができない、納得できないことでもしなければならぬというジレンマもありました。『金額に見合った内容』にするためには、これまではあれを無くして、これも使わずに、といったことしかできず、ともすれば手抜きにもみえてしまうようなこともしなければなりません。私がこの会社を興すきっかけとなった“作る”ということの喜びをなかなか感じる事ができなかったんです。

しかし最近、外壁工事などの他にも内装工事などで直接ご依頼をいただくようになり飲食店を経営している姉の新店舗の内装も私が手掛けました。やはり直接依頼主の方と話ができると、結果、双方納得のできる良い仕事ができます。他には無い提案もでき「これまでで一番良かった」などの声を聞くと、やって良かった、これが自分のしたかった仕事だと疲れも吹き飛ばす嬉しさがこみ上げてきます。

健康の維持といっても特に何かしているわけではないのですが、体一つです仕事なので、休む時は休むということに心掛けています。

これからも初心を忘れることなく、「ありがとう」の声を頂ける質の高い仕事を続けてまいります。

48歳



(株)Fujii 代表取締役
ふじい まさと
藤井 雅人 さん

加古川市加古川町寺家町162
TEL: 079-422-2255

1976年生まれ この年の出来事

◎ロッキード事件(国会証人喚問での「記憶にございません」が話題に) ◎植村直己が1万2000キロの北極圏犬ゾリ横断を達成 ◎郵便料金値上げ(はがき20円・封書50円) ◎「おかげ!たいやきくん」大ヒット

昨年は円安・金の価格に振り回された1年でしたね。昭和28年に創業して以来、当店は貴金属・宝飾品を得意とし利用者の年齢層も高めでしたが、「金が高い」と報道で知った若い方たちが来店されるようになりました。あわせてコロナ禍では、家の整理をした際、押し入れの中に眠っていたものを持って来られる方の来店も増えました。

質店と聞くと周りに知られたくない、入りづらいといったイメージがあるかもしれませんが「帰りのバス代に1,000円」「飲み会代に時計を預けて10,000円」など身につけている物を担保に、気軽に小口でお金を借りられるお客様も大勢いらっしゃいます。外国の方などはこういった利用をするために、常に金のアクセサリを身につけていたりするんですよ。

秘密厳守で取り立ても無いので、質流れになっても周りに知られることなく自動的に契約終了となりますので、安心してご利用いただけることから、来店は増加傾向にあります。

ブランドバッグの偽造品は技術力が上がっていますが、高いものを安くしているのですからどこかに手抜きがあるはずで、糸の種類や縫い目の合わせ方などポイントを見極め、さらに他店との情報交換やブランド品協会の研修会などで得る情報をアップデートしながら鑑定しています。

最近では、ネットオークションやフリマアプリで購入される方もいて駆け引きを楽しむにはいいですが、極端に安いものは疑問を持つなど、偽造品のリスクもあるということをお忘れなく利用してほしいです。

当店は昨年70周年を迎え、今年は私が年男。店も私も地域に育てられ今があります。これからもこつこつ真面目に、気軽に小口で借りられる、小回りの利く商売をし続けたいと思います。

そのためにも、信頼される質店として精進を続けてまいります。



年男・年女に聞く ～今年の抱負～

新年あけましておめでとうございます。
令和6年は辰年。今年「年男・年女」にあたる辰年生まれの
会員の方々に、各年代を代表して今年の抱負等を語っていただきました。

24歳



(一社)こどものための音楽塾 代表理事
かの ゆうな
角 優奈 さん

加古川市野口町野口383
TEL: 080-9167-8812

2000年生まれ この年の出来事

◎有珠山・三宅島 噴火 ◎日本初の女性知事(太田房江氏)が大阪府で誕生 ◎そごう、千代田生命などが破綻 ◎BSデジタル放送スタート

この春、音楽大学を卒業します。
幼い頃から通っていたピアノ教室の恩師への憧れから「ピアノの先生になりたい!」は、一度も変わる事のない私の夢でした。
また敷居が高いと思われがちなクラシック音楽を幅広い世代に親しんでほしい、そして何よりその思いを地元で捧げたい、この両方の夢を叶えるべく、恩師のピアノ教室で講師をしながら、様々なクラシックコンサート企画する当法人を設立したのが18歳の頃です。

クラシックファンのすそ野を広げるため企画した「0歳から聴ける初めてのクラシックコンサート」も昨年5周年を迎えました。

こども達の歌声や手拍子が飛び交う賑やかな会場で、バイオリンやトランペットなど色々な楽器をわかりやすく紹介しながら、こども達に親しみのあるディズニーやアニメ曲から、「威風堂々」「剣の舞」など大人にも馴染みのあるクラシック曲まで多彩な内容です。

演奏を聴くだけでなく、客席も歌って踊って楽しめる会場一体型のプログラムで、1500席が毎回満席となります。

今年9月8日(日)に加古川市民会館大ホールで開催予定のコンサートにも、お子さま連れはもちろん気軽にクラシックを楽しみたい大人の方も是非お越しください。

昨年はコンサートに協賛下さった企業の方々とたくさんのご縁が広がった年でした。ありがとうございました。

歴史あるお寺の境内や駅前での野外コンサートを始め、病院や各施設でのボランティア活動にも手ごたえを感じています。

今年は、これまで支えて下さった地元の皆さまへの感謝を忘れることなく、これまでの活動をこつこつと地道に続け、一人でも多くの方に音楽が好きになってもらえるよう、新しいことにも恐れずチャレンジしていきたいと思っています。

84歳



弓岡サイクル 代表
ゆみおか けんじ
弓岡 健二さん

加古川市加古川町平野398
TEL: 079-422-6379

1940年生まれ この年の出来事

◎伊、英・仏に宣戦布告 ◎サラリーマンの所得税が源泉徴収に ◎日独伊三国同盟調印 ◎「蘇州夜曲」がヒット

元々細かい仕事が好きで、自転車の仕組みを知り修理することが楽しくてこの道に進み1983年に開業しました。これまで、どうしても休まなければいけない時以外、基本的に休みなしで対応してきました。自転車は急を要する修理がほとんどで、調子が悪いまま走っていると事故にも繋がります。また「直って良かった」と笑顔で帰っていくお客様を見ると休んでなどいられないと思ってしまう。家でじっとしているより店に出て動いているほうがいいので、無理しすぎない程度に休みを入れながら営業を続けています。

空いた時間の楽しみは同級生と食事をする事。会える人数も段々減ってきていますが、会えば近況や昔話に花を咲かせています。仕事も遊びも楽しく、というのが健康の秘訣でしょうか。

最近は量販店が進出しその勢いは止めようがありません。しかし、自転車技士の試験を受け、これまでの経験で培った修理技術は量販店には負けないと自負しています。悪い箇所を直すだけでなく、「Aが悪いということは、中でつながっているBにも不具合が出てきているのではないかと、全体の構造を考えながら修理することを心掛けています。その結果お客様からも「買ったてのような快適な走りになった」など嬉しいお声をいただけています。家族何代にもわたってご鼻息にさせていただいてるお客様もいて、これからも地域に愛され信頼される店でありたいと思います。長生きをして体が動く限りは店を続けたい、年男はまだまだ“通過点”の一つです。

60歳



(株)わらびもち 代表取締役
たにぐち ゆかり
谷口 由加利さん

加古川市平岡町一色西2丁目373-3
TEL: 079-498-1679

1964年生まれ この年の出来事

◎東京オリンピック ◎東海道新幹線開通(東京-大阪間、2,480円) ◎海外旅行自由化 ◎カルビーが「かっぱえびせん」を発売

2020年に創業するまでは、総合病院の精神科病棟で看護師をしていました。安定した収入もありましたので、自分でも大きな決断をしたと思います。多くの患者さんが退院していくのを見てきましたが、ある日、入院生活が長かった患者さんが退院して社会に出るのをとても嫌がったんです。それを見た時に、社会に出るお手伝いができないか、看護師として長年培った経験を活かせないかと考え「就労継続支援B型作業所わらびもち」を立ち上げました。ここは障がいを持った方が作業を通して社会性を身につけて自信を持って社会に飛び立てるようお手伝いをする場です。

病院勤めの頃は、規律に基づき仕事をしていましたが、ここは利用者のニーズに沿って自由に企画・運営することができます。利用者個々に違いますので、正解というものはありません。まずは色々なことをやってみて、失敗も経験の一つとしてこの先の運営につなげていくという感じですね。やりすぎて頭を打つこともあります。やっていると本当に楽しいです。事業開始1~2年は自律神経に支障を来すほど心労が重なりましたが、多くの人の助けでここまで来られました。

利用者は、例えば食品のシール貼りや箱折り、封入作業など内職を中心に利用者の状態にあわせて作業しています。軽作業で人手が必要なら是非お問い合わせをいただきたいです。

今年は施設外就労にも挑戦したいと考えています。社会との隔たりを無くし、利用者が自信を持って社会に羽ばたいていけるように、そしてこの作業所から笑顔を生み出し、みんなで笑いあえる毎日を過ごせるように、忙しくても充実した1年にしたいですね。

辰年はどんな年?

2024年は甲辰(きのえたつ)。「甲」は「甲乙丙丁~癸」の一番最初であり、物事の始まり。「辰」は「振(ふるう、ととのう)」に通じ、陽の気で万物が振動し「草木が成長して形が整っていく様子」を表しています。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になるのではといわれています。

「逆鱗に触れる」

竜の姿は「竜に九似あり」といわれるように、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、うなじは蛇、腹はみずち(想像上の動物)、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ており、長い髭をたくわえ、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗(げきりん)があります。竜はこの逆鱗に触れられるのが大嫌いで、触れられると激高し、触れたものを即座に殺すといわれていることが語源となっています。

72歳



税理士法人高橋会計事務所
たかはし はやる
高橋 逸さん

加古川市平岡町一色西2丁目1
TEL: 079-441-1439

1952年生まれ この年の出来事

◎手塚治虫「鉄腕アトム」、月刊誌「少年」での連載開始 ◎サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約が発効 ◎白井義男が日本人初のボクシング世界チャンピオンに

一般企業で経理を担当したことをきっかけに、税理士の道へ進み1983年に開業し昨年41年を迎えました。そして今年法人化し、息子が代表となり新たな一歩を踏み出すことになりました。多くのお客様と従業員、家族に支えられてここまでやってこられました。感謝しかありません。この取材依頼で年男だったということに改めて気づき、そんな節目の年に事務所の新スタートが切れるのは、非常に良いタイミングだったと感じています。

公認会計士として監査法人に勤めていた息子ですが、一昨年私が大きな手術をし、事務所をどうしようかと考えていたところ、昨年春「会計士も継続するので、税理士と兼ねて継ぐ」と言ってくれました。この道に進むことも、ましてや事務所を継ぐことなど強制できないかと思っていたので、その申し出(返事)は本当に嬉しかったですね。今後、徐々に出勤を減らし非常勤として勤めていくつもりです。

第一線を退くので、空いた時間に旅行に行きたいですね。元々旅行好きで海外などにも行って行っていましたので、体力が許される範囲でいろいろな地を巡りたい。健康のために始めたウォーキングを手術後も「歩ける時に歩く」ぐらいの気持ちで無理をせずに続けられたらと思っています。

一昨年は自身の手術、昨年は息子の結婚、事務所の法人化など大きな動きのあった最近です。今年もまだ引継ぎなどで落ち着かない毎日になるとは思いますが、新代表が業務に専念できるようサポートをしながら税理士法人高橋会計事務所の新たなスタートを見守っていきたいと思います。

「振り返りこれからの思うこと」

マネジメントオフィス たき 代表 多木 有一^{たき ゆういち}



住 所: 加古川市別府町本町2丁目5
T E L: 079-437-6223
営業内容: 特定社会保険労務士

それぞれに平坦な道はなかった。
東京での大学生活に父は、原理原則を学ぶこと、一生付き合う友達を作ることと言った。
いきなり、学園紛争があり教室が閉鎖された。所属していた経営管理研究会では、存続の意義を考え解体（廃部）するのか総括と称して一人一人問いつめていった。結果、伝統であるマルクス経済学から、近代経営学に変えた。しかし、卒業後もとのマルクス経済学に戻り廃部となった。父は起業家だったが、私は

損害保険会社でサラリーマンの生活を送った。独身貴族を謳歌しすぎ、体を壊し6か月間休職をした。父が亡くなったあと、転勤族となり、静岡で結婚、家族とともに北海道、茨城そして単身赴任で福井となり退職した。
阪神大震災のときは、茨城にいた。応援部隊で神戸の街をローラー作戦で直接契約先に行き地震保険の請求手続きをして回った。その時に始めてこの仕事をしていてよかったと実感した。それまでは、営業活動でノルマに押しつぶされていた。
阪神大震災をきっかけに実家に帰ることにした。母が老いてきたこと、子供の教育のことなどあったが、大きな動機となったのが、早期退職優遇制度だった。それを選択して、48歳で25年間勤めた会社を退職した。ゆっくりしたかったが、子どもたちがこれから受験の時を迎え無職ではいけないと考える資格を取ることになった。資格をとったあと各種団体に入会することができた。何か専門分野をつくらないと考えていたときある人から個人から法人に組織変更するための手続きを依頼された。それが会社のルール作りの始まりであった。ある人とは、父を知っていた縁が繋がった。当初は、リスク防衛の観点に立っていた。それなりに組み立て

ると部厚ものになっていた。完成したものの周知されず、残念な思いをしていた。メンタルヘルスが増えてきたころからよりわかりやすく実践的になるよう変わってきた。
新型コロナウイルスの3年間、生きることの大切さと、人々に助けられていることを、しみじみ感じた。プロジェクトX（挑戦者たち）の本の見出しに『熱い情熱を抱き、使命感に燃え、プロとしての矜持を胸に、人々はどのように、直面する障害を乗り越え、マニュアルのない状況を切り拓いていったのか』を全巻読み直しながら、泣き、かみしめて生き抜くことと、仕事をするこの大切さを思い知った。
今年から息子と仕事をするようになった。息子は、楽しそうに仕事の話をしている父の姿を見て考えたとのこと。息子の銀行員、コンサルタント等の経験を生かしていきたい。次世代へと変化するなか、対応を考え直さなければ通用しなくなってきた。お互いにお客様の想いを形に、共学・共創・共栄でいきたい。
父の言葉の原理原則は今になって分かっていたような気がする。がまだまだ学ぶ課題がでてきた。一生付き合う友達作りは続いている。最後に父に感謝している。ありがとう。

秋の但馬を満喫

―会員交流バス旅行を開催―

11月26・27日、会員交流バス旅行を開催し、両日で計87名の参加者が但馬方面へ向かいました。

初めに、キング

醸造(株)が廃校となっていた小学校を工場に再生させた「但馬醸造所」を訪問、元体育館を利用した工場で醸造用貯留タンクや発酵蔵の製造過程を間近で見学しました。次に、長寿の郷「ごはんや」にて秋の味覚を詰め込んだ九折膳や但馬牛、刺身を堪能しました。午後は、出石町へ移動し、出石山ガードンにて「そば打ち体験」、コツを伝授してもらいながら、できる限り細く切れるように奮闘しました。体験後は、城下町を自由散策、



初めてのそば打ち、細く切る難しさを実感!

但馬の小京都と呼ばれる街並みで、紅葉狩り・甘味・買い物を楽しみ、充実した時間を過ごしました。

多様化・巧妙化するサイバー攻撃に対策

―サイバーセキュリティセミナーを開催―

12月4日、兵庫県警サイバーセンターサイバー企画課と合同でセミナーを開催しました。

初めに、神戸大学大学院工学研究科教授 森井昌克氏より中小企業を襲うサイバー攻撃の実際として、最近の攻撃手段に用いられたつある生成AIについて、可能な対策の説明がありました。

また、サイバー企画課担当者は、サイバー空間をめぐる脅威と現状に關し、標的となる企業は大企業ではなく、セキュリティの緩い取引先の中堅・中小企業が狙われることもあるので、自社だけではなく、サプライチェーン企業も守る必要性について述べました。

次に、グローバルセキュリティエキスパート(株)常務取締役 三木剛氏より、境界線防御とゼロトラストネットワークについて事例を紹介しながら説明があり、信頼し過ぎず、アクセスコントロールを用いながら攻撃を防御、直ちに検知、すぐに対処できる体制が重要であると強調しました。

最後にサイバー保険制度の説明があり、相談会へと移行しました。

女性会

団体だより

加古川市議会を傍聴

―12月度事業を実施―

12月4日、加古川市議会(一般質問)を傍聴しました。市議会活動に触れ市政を知ること、自社の事業活動の参考になればと考え開催しました。

最初の議員は、①学校の部活動や地域のクラブ活動について②学校給食の保護者負担や有機野菜の取入れについて質問されました。

2人目の議員は、①加古川駅前の点字ブロック上の放置自転車について②市民広場の利用状況及び今後についてなどの質問をされました。私達が聞いていて、鋭い着眼点で、いいことだと思っても、いざ取り入れるとなるといろんな問題点があつて簡単に取り入れることは難しいものなのだなと感じさせられました。

この日は時間の都合で、私共女性会の会員、井上恭子議員の質問を傍聴できなかったのが残念でした。今回参加できなくても、興味のある方は是非傍聴してみてください。市政を知る良いきっかけになるかと思えます。参加者は9名

(会計理事 竹中眞利子)

20 回目の開催を迎え、気合十分
― 商工祭加古川楽市を開催 ―

11月25日・26日、商工祭加古川楽市「知ろう！加古川！最高！〜 楽市ハタチになっちゃいました〜」を昨年同様日岡山公園で開催しました。はじめての11月末開催は、寒さや日没などの問題もありましたが、晴天に恵まれ、2003年に我々の先輩方が地元の物産展としてスタートした楽市が、たくさん地の元の企業様に支えられ、20回目の節目を迎えることができました。

本年度は、例年出演の学校や地域の皆様によるステージイベントや地元企業の飲食物販ブース、地元企業を紹介する企業ブース、子供の職業体験ブースや学生さんが商売をチャレンジするチャレンジブースなどの他、新たにKiss FMさんによる公開収録やラジオDJ体験ブースを実施、お笑い芸人によるステージは大いに盛り上がりまりました。

加古川楽市の目的である地域の魅力の発信、企業間の交流、市民

間の交流、世代間の交流という目的を胸に、メンバー一丸となって第20回目の加古川楽市を創り上げました。当日は多くの子供たちの笑顔からエネルギーをもらい、2日間の疲れを忘れ、楽しみながら運営することができました。

これからも加古川を盛り上げるべく、メンバーや地元企業と力を合わせ、これまで以上にパワーアップした加古川楽市を準備し、商工業の発展、加古川の明るい未来への一助となるよう尽力してまいります。



来年の開催もお楽しみに！

最後になりましたが、加古川楽市にご協賛、ご協力いただいた企業、団体の皆様ありがとうございました。また2日間ステージ参加していただいた皆様、ご来場いただいた皆様、ボランティアスタッフの皆様、本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。また来年の加古川楽市にどうぞご期待ください。

(楽市運営委員長 窪田 健二)

ハンターから逃げ切り成功を目指せ
― 子供の夢を叶え隊2023開催 ―

12月10日、12月例会「子供の夢を叶え隊2023〜逃走中 in 加古川〜」を開催しました。2部制で約90名の子供たちに参加していただきました。この事業は、私たち経済人が抱える問題の一つでもある、少子高齢化による若手後継者不足や働き手不足を解決する為に、今を駆ける子供たちに、魅力溢れる加古川や、YEGの活動を知ってもらい、将来このまちに住み続けたい！このまちで商売したい！と思ってもらおうことと様々な問題解決へ向かうと信じ実施。今回のアンケートで回答数が多かったです、子供たちの夢である「逃走中」を加古川市立少年自然の家で実現しました。



岡田市長、小南教育長を含むハンター集団

逃走中のリアル感を出す為、ハンターは黒いスーツとサンダラスで統一、無表情で追いかけるなど

演じる工夫をしました。サプライズで岡田市長ハンターと小南教育長ハンターがエリアに放たれ、子供たちも喜びながら逃走しました。

時折発動されるハンター解放を阻止するミッションでは宝箱を探して解く加古川に関する問題や、隠された数字を掛け算して解く問題など、逃げながらミッションに挑みました。また、捕まった仲間を助け出す解放ミッションでは、コウノトリに変装したメンバーを探して解放券を手に入れるなど、子供たちは懸命に逃走成功を目指して逃げ回り、1部で4名、2部

で2名の逃走成功者ができました。

晴天に恵まれた会場には、子供たち保護者、メンバーの笑顔と歓喜があふれていました。きっと様々なもの良い影響を与えることができたいと思います。



ミッション成功で竹内会長サンタから参加者全員にクリスマスプレゼント

加古川YEGや地域の持続可能な明るい未来に繋がる例会になりました。

(未来委員長 岡田 健司)

年末調整のお手伝い
 1年未調整及び法定資料作成
 についての相談日！

「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書」

を提出されている方

納期限 令和6年1月22日(月)

相談日時等

月日	相談会場	時間
1/9(火)	加古川納税会館	9時30分 ～ 15時30分
1/15(月)	加古川納税会館	
1/17(水)	加古川商工会議所西支所	9時30分 ～ 15時30分
1/19(金)	加古川納税会館	

来所される際には、各人の給与
 明細の判る書類、源泉関係の必要
 書類（各種控除証明書、年金・健
 康保険等の金額の判る書類等）を
 必ずご持参ください。

法定調書合計表等の税務関係書
 類に、事業主のマイナンバーを記
 載する必要があり、加えて本人確
 認書類の写しを添付する必要があ
 ります。

●お問い合わせ
 加古川商工会議所指導課

TEL 079・424・3355

公益社団法人加古川納税協会

TEL 079・423・6688

各種検定試験のご案内

第166回 日商簿記検定試験

(2～3級)

【試験日】 2月25日(日)

【申込期間】

(ネット受付) 1月10日(水)～25日(木)

(窓口受付) 1月22日(月)～26日(金)

※1級施行なし

※インターネット申込の場合、受

験料の他に申込手数料として別途

660円(税込)を徴収いたしま

す。

(受験料) 2級 4,720円

3級 2,850円

印刷物入札

当所より発注する印刷物に関し、
 競争見積を実施いたします。内容
 につきましましては、前日にお問
 わせください。(当所会員限定)

●日時 1月22日(月)10時～

●場所 加古川商工会議所

3階事務所

●お問い合わせ 総務管理課

TEL 079・424・3355

1月の会議所カレンダー

日	曜日	行事	日	曜日	行事
4	木	令和6年年賀交歓会	18	木	新春議員懇談会
9	火	広報委員会	19	金	(無料)法律相談
12	金	(無料)法律相談	23	火	青年部 臨時総会、(無料)不動産相談
16	火	異業種 1月度定例会、(無料)金融相談	25	木	女性会 新春懇親会
【個別経営相談会】9・10・11・16・17・18・23・24・25日			商工会議所休業 1月1日(月)～1月3日(水)		

●「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)

●無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問合せください。

⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、1月19日(金)までに予約が必要です。(☆)

《問合わせ・予約連絡先》※印：加古川商工会議所 電話079-424-3355

☆印：(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かがわ1月号

発行 2024年1月1日

発行人 加古川商工会議所
 〒675-0064
 加古川市加古川町溝之口800
 TEL (079)424-3355(代表)
 FAX (079)424-7157

広報委員の“つぶやき”

いよいよ新年、辰年のスタートに当たり、霊獣「龍」に皆さまの願い・目標が、どのように投影され意識されるのか、いつもながらに少～し楽しみな年明けです。

「今月の“こんな日”」

●小正月 (15日)

1月15日にお正月を締めくくる節目のひとつで、正月飾りを片付けるタイミングでもあり、どんど焼きなどを開催する地域も。

この日に小豆粥や、稗(ひえ)や粟(あわ)、麦などの「七種の穀物(七種のもの)」で作ったお粥をいただきます。